

総務部 防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（平成23年3月31日現在）

分団数	団員数			定員
	入団	退団	現員	
28分団	16人	31人	512人	544人

イ 行事

(ア) 6月20日 第6回米子市消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）

a ポンプ車操法の部

優勝 県分団、準優勝 淀江町第1分団、第3位 成実分団

b 小型ポンプ操法の部

優勝 福生東分団、準優勝 車尾分団、第3位 河崎分団

(イ) 7月18日 第56回鳥取県消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）

a ポンプ車操法の部 県分団 第4位入賞

b 小型ポンプ操法の部 福生東分団 第4位入賞

(ウ) 9月5日 米子市消防団水防訓練（鳥取県消防学校）

(エ) 1月9日 米子市消防出初式（米子市文化ホール）

平成23年1月豪雪の影響により、分列行進・一斉放水を中止し、式典のみ実施

(オ) 3月6日 米子市消防団・米子消防署合同消防演習（鳥取県消防学校）

(カ) 随時 女性消防団員の防火予防広報（市内保育園・幼稚園、自治会等）

ウ 消防団員教育訓練

(ア) 米子市主催のもの

a 5月9日 消防ポンプ操法研修会（西部消防局）

b 6月14日 米子市消防ポンプ操法大会審査員説明会（西部消防局）

c 8月29日 南部・箕蚊屋・淀江町ブロック救命講習・規律訓練（鳥取県消防学校）

d 9月26日 弓浜ブロック救命講習・放水技術競技会（鳥取県消防学校）

e 10月24日 機関員実施訓練（西部消防局）

(イ) 鳥取県消防学校入校によるもの

a 4月17日 消防団員女性団員教育（第4期）

b 5月15日・16日 消防団員特別教育・消防操法指導科（第33期）

c 8月9日・10日・16日 応急手当普及員講習

d 8月21日 消防団員専科教育・機関科（第44期）

e 10月16日 消防団員専科教育・警防科（第40期）

f 11月6日 消防団員基礎教育（第57期）

g 12月4日・5日・12日 応急手当普及員講習

h 2月5日 消防団員幹部教育（第33期）

i 2月26日・27日 応急手当指導員講習

j 3月12日 消防団員特別教育・消防操法科（第7期）

エ 報酬及び費用弁償

(単位：円)

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬年額	74,000	56,000	44,400	30,400	27,300	25,000	22,700
機関員加算	ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 可搬ポンプ機関員報酬年額 7,800						
費用弁償	出場、訓練、警戒等 1回につき 2,800						

オ 表彰等(主なもの)

表彰等の種類		被表彰者		
		所属	階級	氏名
藍綬褒章		本部	副団長	末吉正三
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	本部	副団長	由木勉
		明道分団	分団長	土井祐治
		尚徳分団	分団長	長谷川周一
		功績章	県分団	分団長
日本消防協会長表彰	精績章	本部	副団長	末吉正三
		彦名分団	分団長	藤原統一
	勤続章	本部	副団長	由木勉
		就将分団	部長	成相幸雄
		啓成分団	班長	西村進
		大高分団	団員	中本公平
鳥取県知事表彰	功労章	淀江町第2分団	副分団長	谷田稔
	功績章	義方分団	副分団長	難波良民
		河崎分団	副分団長	足芝恭志郎
		啓成分団	部長	細田登
		夜見分団	部長	吉岡明
		河崎分団	班長	牧野和人
		巖分団	班長	谷尾勝俊
		尚徳分団	班長	長谷川満
		尚徳分団	班長	森田学
		彦名分団	班長	木井浩美智
		春日分団	班長	柳谷一夫
		淀江町第1分団	班長	新畑和久
		河崎分団	団員	岩井良一
		夜見分団	団員	足立一彦
		尚徳分団	団員	長谷川尚秀
尚徳分団	団員	長谷川俊弘		

表彰等の種類		被 表 彰 者		
		所 属	階 級	氏 名
鳥取県消防協会長表彰	功績章	住吉分団	副分団長	鷲見晃弘
		春日分団	部長	堀尾道明
		明道分団	部長	岩佐訓良
		加茂分団	部長	高木肇
		加茂分団	部長	隠樹千佳良
		富益分団	班長	角勝司
		福米西分団	班長	坂田浩一
		大篠津分団	班長	本池令
		和田分団	班長	森脇俊介
		崎津分団	班長	福井雄治
		崎津分団	班長	福井秀人
	崎津分団	班長	長谷川俊一	
	功労章	巖分団	分団長	池口秀雄
		巖分団	部長	塚田文明
	勤続章	五千石分団	副分団長	中谷安秀
		淀江町第1分団	部長	柄川英彦
		和田分団	部長	井田秀人
		淀江町第2分団	班長	伊澤博章
		五千石分団	班長	山本和美
福米東分団		団員	相野弘文	
	淀江町第2分団	団員	才木茂之	

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修及び防火水槽の修繕を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓改修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団に設置している消防ホース乾燥塔（夜見分団所属）について、建て替えによる更新を行なった。

2 防災関係

(1) 米子市防災訓練

鳥取県西部地震の風化防止、災害時における災害応急対策の的確・迅速な遂行のための防災体制の確立及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、鳥取県西部地震が発災した10月に住民参加型訓練を実施した。（平成22年度は、県と共同で「とっとり防災フェスタ2010」を実施した。）

ア 開催日時 平成22年10月17日（日）

イ 開催会場 米子港周辺

ウ 参加機関 米子市、鳥取県、鳥取県西部市町村、鳥取県警察本部、米子警察署、陸上自衛隊、鳥取県西部広域行政管理組合消防局、他多数

エ 参加者数 約2万人

オ 実施内容 公助訓練（消防、自衛隊、海上保安庁、警察等による災害時を想定した救助訓練）、地域自主防災組織等による自助・共助訓練（バケツリレー・水消火器・応急手当訓練等）、炊き出し訓練、救助車両等展示、ちびっこコスプレ体験 他

(2) 防災行政用無線

保守点検を実施した。

業務委託料	4,023,600円		
委託業者	電気興業株式会社中四国支店、株式会社タイヨー通信		
点検概要	同報系	親局	2局
		遠隔制御装置	34台
		屋外拡声子局	96局
	移動系	基地局	2局
		車載型無線機	11台

(3) 自主防災組織の育成

地域住民が、それぞれの立場、役割に応じて、隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うための自主防災組織の育成に努めた。

平成22年度には新たに6団体が結成され、米子市全体で152組織となった。

ア 平成22年度 新規結成組織（米子市自主防災組織結成補助金を交付した団体）

(ア) 名称 富士見町防災会、戸上防災会、車尾3区防災会、東町自治会防災部、上安曇防災会、観音寺自主防災会

(イ) 世帯数 702世帯

(ウ) 助成金の額 320,400円

イ 平成22年度 自主防災組織育成補助金 交付実績

(ア) 交付件数 61件（防災訓練・講習会等 22件、防災資機材等整備 39件）

(イ) 交付合計額 1,517,000円

3 災害関係

(1) 8月11日から8月13日の台風第4号により、以下の被害が発生した。

床下浸水1棟

4 災害時における協力関係

(1) 災害時応援協定関係

平成22年11月19日に株式会社DARAZコミュニティ放送と「災害緊急放送に関する協定」を交わした。

5 米子市防犯協議会

(1) 定例総会

2月18日、市役所本庁舎5階第2会議室で開催した。新役員は、次のとおり。

会 長 梅 林 浩 史 （米子市自治連合会長）

- 副会長 岡田 茂 (米子市自治連合会副会長)
 " 後藤 巖 (米子市社会福祉協議会長)
 " 栢木 隆志 (米子市学校校外指導連絡協議会長)

(2) 防犯灯設置及び防犯灯電灯料への助成

各自治会防犯灯の設置について、蛍光灯による新設及び移設75灯、白熱灯から蛍光灯への切替4灯及び器具の取替え90灯に対し助成を行った。また、防犯灯電灯料(50%)についても助成を行った。

6 交通安全対策関係

(1) 交通安全運動

米子市交通安全運動推進協議会の主唱により、米子地区2010セーフティー作戦に基づく各種運動を実施した。

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
春の全国交通安全運動	4月6日 ~4月15日	交通安全運動推進式(公会堂前広場) 交差点での安全確認励行作戦(市内主要交差点) 街頭広報(公会堂周辺) シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 安来市と合同(国道9号 安来市旧ホリデiland前) シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報 大山町と合同(国道9号 大山町福尾観測所前) 飲酒運転追放広報(朝日町・角盤町周辺) 交通安全街頭広報(Aコープ淀江店駐車場) 保育園児交通安全教室(車尾保育園) 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報(えるもーる、サティ前)
夏の交通安全県民運動	7月14日 ~7月23日	交通安全運動推進式(公会堂前広場) 交差点での安全確認励行作戦(市内主要交差点) 街頭広報(公会堂周辺) 交通安全街頭広報(Aコープ淀江店駐車場) 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報(えるもーる、サティ前) 交通安全ドライバー広報(R181 福市考古資料館前) 飲酒運転追放広報(米子駅前周辺) シートベルト着用率調査(各地区)
秋の全国交通安全運動	9月21日 ~9月30日	保育園児交通安全教室と合同広報(すみれ保育園~サティ前)<9月17日> 交通安全運動推進式(公会堂前広場) 交差点での安全確認励行作戦(市内主要交差点) 街頭広報(公会堂周辺) 飲酒運転追放広報(朝日町・角盤町周辺) 交通安全ふれあい大会(ふれあいの里) 交通安全街頭広報(Aコープ淀江店駐車場) 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報(えるもーる・サティ前) シートベルト・チャイルドシート着用ドライバー広報(内浜下水処理場前) 女性ドライバ-安全運転学校(米子自動車学校)

名称	期 間	主 な 実 施 事 業
年末の交通安全県民運動	12月13日 ～ 12月22日	交通安全運動推進式（ふれあいの里 大会議室） 街頭広報（えるもーる一番街周辺） チャイルドシート講習（ふれあいの里 大会議室） 飲酒運転撲滅ドライバー広報（内浜下水処理場前） 飲酒運転追放広報（米子駅前周辺） 交通安全街頭広報（Aコープ淀江店駐車場） 自転車マナーアップ作戦及び反射材広報（えるもーる・サティ前）

(2) 交通安全活動の推進

ア 米子市交通安全指導員の委嘱と活動推進

(ア) 人数 77人（平成23年3月31日現在）

(イ) 登校時における児童・園児の通行の保護、誘導。交通安全運動（年4回）の推進。

がいな祭、皆生トライアスロン大会等での交通安全確保の協力。

イ 米子市交通安全えがいの会の活動推進

市内27地区のえがいの会の活動を助成。交通安全運動（年4回）の推進。女性ドライバー安全運転学校、マイカー点検教室などに参加。

7 交通災害共済関係

(1) 加入状況

区 分	加入人数(人)	加入口数(口)
一般受付	2,429	4,034
団体受付	9,123	10,137
計	11,552	14,171

(2) 給付状況

区 分	事故件数(人)	給付金額(円)
死 亡	0	0
療 養	43	2,207,002
計	43	2,207,002

8 米子市防災会議

(1) 会議の開催

米子市地域防災計画（共通編・風水害対策編・震災対策編等）の策定について協議を行った。

ア 開催期日 平成22年6月3日

イ 開催場所 議会第2会議室

9 12月31日から1月2日の豪雪に係る米子市の対応状況

(1) 気象状況と災害対策本部の設置状況

12月31日	10:25	大雪警報発表 米子市豪雪警戒本部設置
1月1日	5:00	観測開始以降最大の積雪89cmを記録
	8:00	米子市豪雪対策本部設置（1/1～1/31）
1月2日	5:07	大雪警報解除

(2) 被害状況

- ア 人的被害 軽症者2名(雪下ろし作業中)(1/1)
- イ 交通被害 山陰道、米子道、国道431号、9号線他通行止め(1/1~1/2)
航空機、JR、路線バス、だんだんバス等運休(1/1~1/6)
- ウ 停電被害 12/31~1/4で市内一部停電(1/1の13:00時点で最大20,800戸)
- エ 倒木被害 市道街路樹 約400本(枝折れ)
国道431号沿線 約5,900本
内 保安林 約4,800本(県、市、民有林全体)
学校、公園等公共施設 約1,000本
- オ 漁船等被害 転覆、沈没、浸水 64隻
- カ ビニールハウス等被害 約170棟
- キ 農作物被害 白ねぎ、にんじん、ブロッコリー、柿、梨 他
- ク 観光客キャンセル 延べ2,700人(1/1~1/3)
- ケ 米子市所管施設の概算被害額 約193,434千円
内訳 倒木処理 約111,332千円
修繕 約81,110千円
除雪 約992千円
- コ 罹災証明書の発行件数 83件(1/11~3/31)

(3) 対応状況

- ア 除雪対応 通学路等の除雪を行った。
- イ 停電対応 情報収集・情報発信を行い、自主避難所等の支援を行った。
- ウ 公共交通機関の運行復旧対応 情報収集・情報発信を行い、関係機関と連携して早期復旧に努めた。
- エ 要援護者対応 高齢者・障がい者世帯の安否確認を行った。
- オ 倒木対応 クリーンセンターへの持ち込み受け入れ、ごみ置き場での無料収集を行った。
- カ 救援対応 国道9号線渋滞救援及びJR孤立乗客救援として、毛布400枚、非常食200食を提供した。

(4) 義援金受付状況

10件 2,730,654円

10 東日本大震災に係る米子市の対応状況

(1) 災害支援対策本部の設置状況

平成23年3月22日に災害支援対策本部(本部長:市長)を設置した。

(2) 支援状況

ア 備蓄物品の提供

宮城県からの要請に基づき、本市の災害用連携備蓄物品を、鳥取県を經由して提供した。

3月12日 簡易トイレ50基、し尿処理剤10,000個

3月20日 蒸留水5,088リットル、クラッカー3,570食、山菜おこわ1,600食

イ 人的支援

避難所の支援業務にあたるため、被災地への職員派遣を3月26日から開始した。

ウ 給水支援

米子市水道局が3月14日から3月23日まで、被災地に給水車1台、支援車1台、職員延べ8名の給水支援隊を派遣した。

エ 住宅支援

3月18日から市営住宅の提供に関する受付窓口を開始した。

オ 市民からの支援物資の受付（鳥取県と連携）

(ア) 受付期間 平成23年3月18日から3月25日まで

(イ) 受付場所 皆生浄化センター

(ウ) 物資提供者 914名

(エ) 物資内訳 保存食5,686枚、飲料水4,946本、生理用品1,769個、粉ミルク511袋、紙おむつ2,031袋、毛布1,024枚

カ 被災者受入支援チームの立ち上げ

3月29日から、被災者の受け入れや転入後の生活支援について対応するため、全庁的な支援チームを立ち上げた。

キ 義援金の受付窓口の開設

3月14日から本庁舎、淀江支所、市立図書館、行政窓口サービスセンター及び各地区公民館に義援金箱を設置し、受付窓口を開設した。